

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
1123冊(473人)3/24現在
文責 校長 宮脇 真一

昨日、第33回卒業証書授与式を挙りました。

平成29年4月11日に入学し、1167日の授業を経て卒業の日を迎えた118名を見送りました。3年ぶりに「別れの言葉」を語り、「別れの歌」及び「校歌」を歌うことができた卒業式でした。

明日から春休みに入ります。この一年間子どもを真ん中におき、同じ方向を向いて学校教育に御協力いただいたことを感謝申し上げます。



いまをだいじに
(令和5年3月24日撮影)

「自分に自信と夢を」～いまを確認し、次に備える～

本日、1年生から5年生の修了式を行いました。全ての児童が次の学年に進級することになります。代表児童に修了証を渡した後、次の話をしました。



一同に会して実施

○ 代表児童の作文発表について

1年生と5年生の発表でした。1年生は「今年でできるようになったこと」「2年生で頑張ること」を話してくれました。「やさしい気持ちで」次の学年に向かっていきたいという思いが伝わる内容でした。5年生は「時間を守る・挨拶をする・話を最後まで聴く」という大津町3つの約束に沿った発表でした。特に挨拶については学校内だけでなく地域の皆さんにもできるようになっていくことに取り組むという次の目標設定も語られました。

○ 卒業式について

昨日、6年生が卒業したこと。その卒業式を5年生が準備・後始末などの取組で支えてくれたことへの感謝を述べました。

○ カメの「異動」について

職員玄関で来客のお迎え・お見送りをしてきた「カメ」。この度、水槽の中だけでなく、より広い環境での飼育が可能という申し出があり、そちらに「異動」することになりました。大掃除の時間帯に多くの児童がカメにお別れを告げに来ていました。



今までありがとう

○ いのちを大事にすることについて

春休みは、一年の「終わり」ではなく「節目」であること。4月はすぐそこまできていて、肅々とその準備をしてほしいことを話しました。473人が提出した1123冊の自学ノートの次年度への取組も促しました。そして、何よりも大事なのは「いのち」。互いの「いのち」を大切にすることを集まった全員で確認するとともに、始業式が行われる4月10日の再会を約束して「全員集合」の修了式の話としました。